

## ○ 担当工事概要 (R2~4)

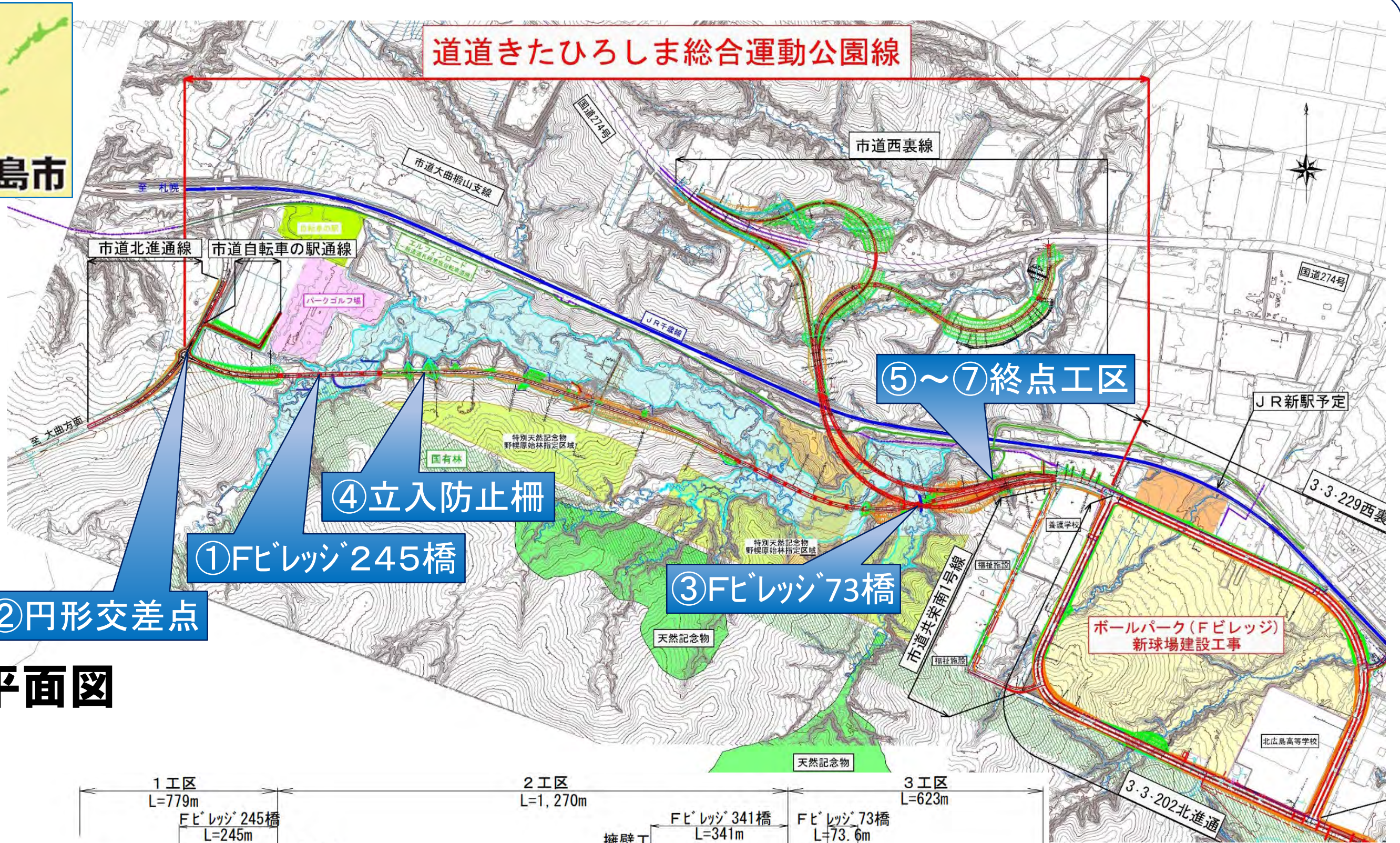


終点工区完成写真R5.2

- ① Fビレッジ245橋設計委託
- ② 円形交差点 (3枝T型ラウンドアバウト) 設計および広報資料作成委託
- ③ Fビレッジ73橋橋梁工事および工事用道路造成工事
- ④ 起点工区立入防止柵 (鹿対応) 設置工事
- ⑤ 終点工区函渠設置工事
- ⑥ 終点工区道路改良工事
- ⑦ 終点工区舗装設置工事

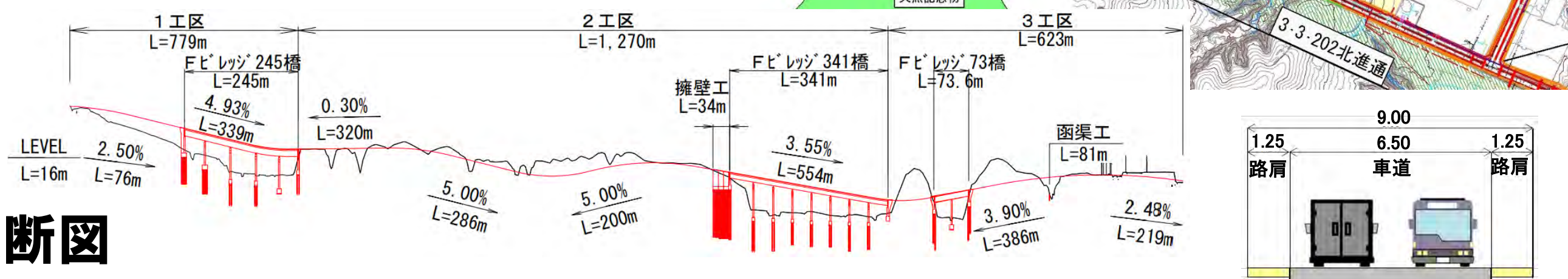


北広島市



○ 平面図

○ 縦断面図



## ○ 環境保全と経済性との両立

路線の道道認定とほぼ同時に当事業の担当となりました。

当初案は、土工バランスいわゆる経済価値を重視した路線計画でありました。しかし、現場付近が天然記念物の野幌原始林に隣接しており、周辺の自然環境保全との両立という環境価値も確保しなければなりません。多くの議論を重ねた結果、盛土量の抑制および橋梁の延伸や集約などの路線計画の見直しが必要という結論に到りました。この見直しにほぼ1年を費やすこととなり、実質2年間の工事で路線は完成に到りました。また、見直し過程での各橋梁は、工期短縮と長寿命化が命題となり、プレハブ構造の合成床版を取り入れました。さらに今後の維持管理工事と環境保全を考慮して、いずれ発生するであろう支承取替に備え、ブラケットの設置が不要となる沓座幅をあらかじめ確保しておく先進的な考え方も取り入れました。



土木の日パネル展2022(チ・カ・ホ)



(国研) 土木研究所の現地視察



埼玉県庁の現地視察

## ○ 情報バリアフリーに配慮した円形交差点 (ラウンドアバウト) の広報用資料

起点工区の市道との交差点には、建設コスト縮減と交通渋滞緩和との両立を確保するため、道道としては初のラウンドアバウトを採用しました。さらに路線の新規供用に際し、安全で快適に走行するためのルール等を利用者に広く周知する必要性から動画やチラシ等の広報用資料の作成を担当しました。また、音声および字幕の設定により視聴覚障害者へ配慮しました。

作成した本資料は、札幌建設管理部ホームページへの掲載はもとより、多くの報道関係者にも取り上げていただきました。



## ○ 合意形成力の確保

きたひろしま総合運動公園線の開通というひとつの目標に向けて、信頼の置ける仲間たちとの額に汗した (冷や汗もあった?) 3年間の事業経験は、転職しなければ決して味わうことのできなかつたかけがえのない財産となりました。職務は待ったなしで多忙を極める時期もありましたが、ワークライフバランスの推進 (時間外勤務の縮減や年休等の取得促進) によって生じた余時間は、仕事帰りのジム通いによる健康増進および休日は趣味の釣りに講じるなど、心と体のリフレッシュに努め、充実した日々を過ごしてきました。

今後は、開通した路線の状況を見守りつつ今回の経験を踏まえ、求められている合意形成力を養い実践していきたいです。